

令和2年度 宜野湾市地域学校協働本部(宜野湾市)

構成学校	市内9小学校、4中学校(普天間小学校、普天間第二小学校、大山小学校、大謝名小学校、嘉数小学校、志真志小学校、宜野湾小学校、長田小学校、はごろも小学校、普天間中学校、真志喜中学校、嘉数中学校、宜野湾中学校)				
開始年度	平成21 年	登録ボランティア	175 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	12 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	市内小中学校	連携機関・団体	PTA、農協、農家の方等	

◆代表的・特徴的な活動

- ・新型コロナ対策用マスク作成、教室消毒活動
- ・地域で活動する方によるキャリア教育(田いも教室)
- ・体験学習の企画支援
(手話講座、じゃがいも植え体験、
うちなあぐち講座等)
- ・家庭科でのミシン補助
- ・給食配膳の補助
- ・家庭科調理の補助
- ・水あそび(1年生プール授業)、
着衣水泳教室の補助
- ・交通安全見守り
- ・校医検診の補助
- ・校内環境整備
- ・学習支援活動(個別・授業に入っている補助等)



着衣水泳教室「浮いてまで」
(大山小学校)



手話講座(嘉数小学校)



じゃがいも植え体験
(宜野湾小学校)



◆工夫していること

- ・地域学校協働活動推進員(以下、「地域コーディネーター」という)同士の情報交換の場を設けている(定例会、SNS)。
- ・コーディネートスキルアップのため、国・県などから紹介されたオンライン講座・研修を地域コーディネーターに紹介している。



地域コーディネーター定例会

◆成果と課題 (○成果 △課題)

- 【コ】地域コーディネーター間においてLINE等のSNS活用により情報共有がスムーズになっている。
- △【コ・学校】PTA事務員を地域コーディネーターとして委嘱するケースが増え、地域コーディネーター・学校・PTA間の連携が強化されている。反面、兼務による活動の切り分け、作業量の増加など、地域コーディネーターへの負荷が心配である。
- 【コ】小規模だが、ボランティア育成の活動も行っている地域コーディネーターがあり、今後の広がり期待している。
- △【本部】学校での協働活動についての認知度・地域コーディネーターの活用は広がってきているが、地域の認知度はまだ低い。更なるPRが必要と感じている。
- △【本部】地域コーディネーター後任人材の発掘に苦慮している。